

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地区の防災安心応援事業
事業主体 (連絡先)	生坂村
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード
総事業費	1,272,760円 (うち支援金1,018,000円)

事業内容

住民の警戒避難体制の一層の定着化を進めるため、生坂村総合防災訓練として、9月4日(日)に地震災害を想定した避難訓練と安曇野赤十字病院と連携して、医療救護訓練を実施した。また、昨年度要望のあった住民支え合いマップの改訂版を整備し有事に備えた地域コミュニティの構築のため説明会を行った。

1 住民支え合いマップ整備 (80部)

昨年要望のあった住民支え合いマップの更新を行い、集落ごとに必要な情報など防災コミュニティの構築が図られるよう改訂版を全集落に整備した。

2 地震災害を想定した総合防災訓練の実施 (9月4日(日))

・医療救護訓練…大規模災害発生を想定した医療救護訓練を安曇野赤十字病院と共同で実施し、有事の際の迅速かつ適正な対応等の確認を行った。

・住民避難訓練…住民自らが作成したそれぞれの自主避難計画を確認しながら、避難訓練を実施し定着化を図った。

3 総合防災訓練反省会及び住民支え合いマップ説明会の開催 (2月6日(月))

・防災講演会に替え、総合防災訓練反省会及び住民支え合いマップ説明会を行い、有事の際の適正な対応に向けた防災体制の整備と強化に努めた。(参加者：各常会長、議会議員ほか55人)



【生坂村総合防災訓練(医療救護訓練)の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

毎年開催する訓練を通じた避難体制の確立と医療訓練実施による体制整備が図られ、住民支え合いマップの整備により地域の防災意識の啓発に努めることができた。

1 住民支え合いマップの整備により、集落ごとに自分の住む集落の防災と支え合いについて今一度考える機会とすることができた。

2 本年は、総合防災訓練として9月4日(日)に地震を想定して行い、更に医療救護を合同で行うことにより実際に即した訓練として、村民の7割を超える参加者数により実施することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

住民の自主避難計画の定着化と継続した避難訓練や啓発活動に努めるとともに、住民支え合いマップを活用した地域コミュニティの構築を協働により進める。

【目標・ねらい】

- ① 住民の防災意識の向上
- ② 自主防災組織の体制づくり
- ③ 村内全区での避難訓練実施
- ④ 住民支え合いマップの整備

※自己評価【A】

【理由】

住民自らが作った自主避難計画の定着と避難訓練の継続した実施、地域コミュニティの構築が欠かせない住民支え合いマップの整備と防災を意識し定着に向けた取り組みを進めることができた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある